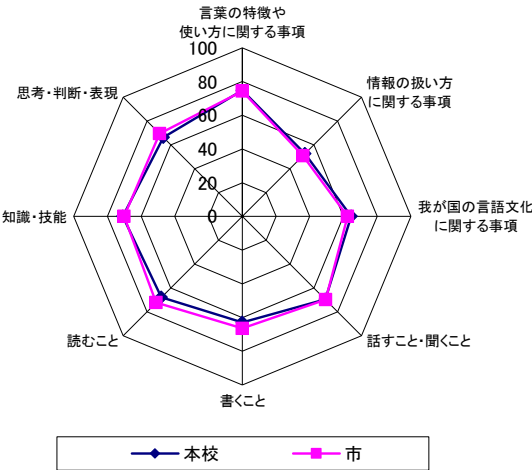


宇都宮市立御幸小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	74.8	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	52.5	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	64.6	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	69.6	69.9	69.7
	書くこと	62.9	66.4	64.6
	読むこと	67.9	72.3	71.0
観点別	知識・技能	70.9	70.1	70.0
	思考・判断・表現	66.2	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は74. 8%で、市平均と同程度である。 ○漢字の書き取りや熟語の構成に関する問題では、市の平均正答率より約22ポイント高い。 ●文章に合う適切な敬語を選択する問題では、市の平均正答率より約4ポイント低い。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・漢字ドリルやAIDドリルを活用した漢字練習を、今後も計画的に実施し、漢字を正確に書く力や読む力の定着を図っていく。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉について理解し、適切に使う力を身に付けるために、友達や教師との会話や文を書く際などに、適切な言葉を選んでいるか確認したり、児童同士で教え合ったりする機会を設け、日常生活の中で意識できるようにしていく。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は52. 5%で、市平均より1. 6ポイント上回っている。 ○情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章を書く問題では、市の平均正答率より6. 4ポイント高い。	・国語だけでなく他教科等においても、目的に応じて集めた情報を分類したり関連づけたりしながら自分の考えを文章にまとめてまとめる活動を意図的に設けることで、情報を収集して活用する力や文章表現力を今後も高めていく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は64. 6%で、市平均より2. 2ポイント上回っている。 ○漢字の由来に関する問題では、市の平均正答率より2. 2ポイント高い。	・教科書に載っている古文や漢文に関連する本を紹介したり、ことわざや慣用句、故事成語などを用いて文を作る活動を取り入れたりすることにより、言語文化への興味・関心を深められるようにする。
話すこと・聞くこと	平均正答率は69. 6%で、市平均と同程度である。 ○計画的に話し合い、考えを広げるための工夫について選択する問題では、市平均より1. 2ポイント高い。 ●話し合いにおいて、互いの立場や意図を明確にするための発言の仕方について記述する問題では、市の平均正答率より約4ポイント低い。	・学習活動全体において、相手の話を正確に聞き取ったり、自分の考えを表現したりする活動を多く設定していく。 ・話し合い活動では、目的や意図に応じて、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合えるように、意図的・計画的に指導していく。
書くこと	平均正答率は62. 9%で、市平均より3. 5ポイント低い。 ○情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章を書く問題では、市平均より6. 4ポイント高い。 ●指定された長さで、2段落構成で文章を書く問題では、市の平均正答率より約10ポイント低い。	・情報を正しく読み、適切な言葉を用いて記述する力を伸ばすために、社会科や算数科などで学習した図表やグラフの読み方を生かし、的確に表現できるよう今後も指導していく。 ・国語科をはじめとして、他教科や特別活動においても、定められた字数や段落等の中で、自分の考えを簡潔にまとめる活動を多く取り入れることで、書くことに慣れさせていく。
読むこと	平均正答率は67. 9%で、市平均より4. 4ポイント低い。 ○物語の内容を読み取る問題では、どの問題も市平均を2～3ポイント上回っている。 ●説明文の読み取りにおいて、論の進め方についての問題では市平均より9. 5ポイント、文章の構成についての問題では、約13ポイント下回っている。	・目的に応じて、意見の根拠となる部分を適切に引用したり、要約したりする学習を取り入れる。 ・何が書かれているかだけでなく、どのように表現されているかを読み取れるよう指導していく。また、文章を正確に解釈することにとどまらず、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをまとめる活動を意図的に設定する。